

会議議事録（要旨）

1 会議名	第3回長岡市地域公共交通協議会
2 開催日時	平成24年2月22日(水曜日)午前10時から
3 開催場所	まちなかキャンパス長岡 301 会議室
4 出席者名	<p>【協議会委員】 本多委員、藤井委員、小林委員、鈴木(久)委員、長谷川委員（代理：五十嵐様）、中野委員、本間委員（代理：佐藤様）、大橋委員、土田委員、松本委員、幸委員、木村委員、鈴木(義)委員、小林委員（代理：藤澤様）、与板タクシー 五十嵐様</p> <p>【事務局】 安達交通政策課長、外4名</p>
5 欠席委員	西田委員 松川委員
6 議題	<p>(1)平成24年度事業計画(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和島地域乗合タクシーの運行 ・長岡駅～寺泊地域の夜間増便 ・小国地域の生活交通 <p>(2)平成24年歳入歳出予算(案)について</p> <p>(3)生活交通改善事業計画(バリアフリー化設備等整備事業)(案)について</p>
7 審議結果の概要	・議題(1)～(3)について承認された
8 審議の内容	
【議事】	<p>議事(1) 平成24年度事業計画(案)について</p> <p>議事(2) 平成24年歳入歳出予算(案)について</p>
事務局	<p>資料1「平成24年度 事業計画(案)について」</p> <p>資料2「平成24年歳入歳出予算(案)について」</p> <p>上記資料に基づき、事務局が説明。</p>
委員	<p>乗合タクシーのアンケート結果のうち、必要性についてもう少し詳しく理由を把握する必要があると思います。必要だという意見の中には、運行していればいいという意見と運行して欲しいという意見の二つがあると思うので、次回アンケート調査を実施するのであれば、その点を詳しく聞くことが必要かと思います。</p>
事務局	<p>アンケート結果を見ると、「有った方がいい」という意見が半数を超えていますが、実際に利用されたことがある人は、回答者のうち5%しかおりません。</p>

会長	<p>続いて、長岡駅～寺泊間の夜間の増便についてですが、これについては特に変更はありませんが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜質疑なし＞</p>
会長	<p>次に、支所地域内の生活交通確保について小国地域とその他地域について説明がありましたが、まず小国地域について、ご意見等ありますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜質疑なし＞</p>
会長	<p>では、その他地域に関しまして何かご質問等ありますでしょうか。</p>
委員	<p>歳入歳出予算について運行は市の予算で行うという説明を受けましたが、和島、寺泊についてはどれくらいの支出になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>市の予算では、和島地域の乗合タクシーが 250 万円、寺泊地域の夜間増便については 150 万円、小国については 1,600 万円を要求しています。その他地域については協議会の予算の中で調査費 380 万円を要求しており、アンケート調査等を実施する予定です。</p> <p style="text-align: center;">(議題(1)、議題(2)について事務局説明のとおり承認される)</p>
【議事】	<p>議題(3)生活交通改善事業計画(バリアフリー化設備等整備事業)(案)について</p> <p style="text-align: center;">資料3「生活交通改善事業計画(バリアフリー化設備等整備事業)(案)」</p>
事務局	<p>上記資料に基づき、事務局が説明。</p>
会長	<p>来年度の 8 台の他、25 年度に 5 台、26 年度に 4 台の導入を予定していますが、これは事業者の方にアンケート等をとったのでしょうか。</p>
事務局	<p>照会をかけた結果です。</p>
会長	<p>25 年度と 26 年度の中には現在の車両との入れ替えの台数はありますか。</p>
事務局	<p>25 年度と 26 年度は、全て新規と聞いています。</p>
委員	<p>消費者協会に利用者としての意見をということですが、一度持ち帰って会員の意見を聞きたいと思います。</p>

委員	福祉タクシー導入に当たって、補助金が出るにしても事業者はその負担をどのように感じているのか教えていただきたい。また、長岡市は福祉タクシーの利用者に対し、タクシー券を配る等の施策を実施していると思うが、今後ソフト面での支援についてどう進めていくのかお聞きしたいと思います。
事務局	現在、心身障害者へタクシー券を交付しており、障害者に限定されています。
委員	資料にある事業者は、介護や福祉に非常に力を入れております。 長岡では、特定地域協議会というものがあり、その中でタクシー事業の活性化について話し合いを持っています。そういう意味で長岡は、県内の中では先進的に取り組んでもらっています。また、直接関係はありませんが、長岡市の協力があり、透析患者の輸送に力を入れていただいています。 福祉タクシーは、タクシー事業のみで採算をとることは難しいですが、公共交通としての責務もありますので、補助金を利用させていただきながらタクシー事業の信頼性向上につなげていきたいと思っています。1割の割引については、社会貢献という意味でタクシー事業者の持ち出しで実施させていただいています。
委員	別表1につきまして、事業者別に国費の割合が違うのはどういった意味が有るのでしょうか。
事務局	福祉タクシーを1台導入するに当たって、対象経費の1/3、上限60万円を補助するとあります。事業者ごとに対象経費の額が違いますので、結果として補助割合に差がでています。 (議題(3)について事務局説明のとおり承認される)
会長	ほかに無いようでしたら、今日の議事に関する事、またはそれ以外についても何かございましたらお願いします。
委員	今冬は豪雪という状況ですが、積雪時のバスレーン確保やバス停の確保について、十日町などでは歩道除雪をしながらバス停を確保するという事例もあります。今冬は雪山を乗り越えてバスに乗るといった人も見かけますが、冬期積雪時のバス利用環境の確保についてどのようにお考えでしょうか。
事務局	待合所が有るようなバス停については、町内が待合所の管理の一環で除雪を行っているところもあります。また、待合所を建てる際に市の補助金を受けている町内は、待合所の管理の一環として町内でバス停の確保(除雪)をお願いしています。市内の歩道除雪については、雪道計画の中で通学路を中心とした歩道除雪を行っています。その作業の中でバス停を確保している場合もあると

	<p>思います。バス事業者においても、ある程度重要なバス停をピックアップして、見回りをしていると聞いています。</p> <p>このように、市、交通事業者、町内会、それぞれができる範囲で冬期のバス停確保等に取り組んでいるのが現状です。</p> <p>また、バスレーンなどの道路除雪についても、各道路管理者において一生懸命やっけていただいているところです。</p>
委員	<p>バス停や歩道除雪については、雪道計画を立て取り組んでいる状況でして、市民の方からは新規路線の要望が年々増えています。我々のほうも新規路線の拡大を目指して取り組んでいるところです。</p> <p>今冬については現体制では除雪が間に合わない部分はありませんでしたが、克雪都市宣言をしていますので、業者と協力しながら除雪に取り組んでいきたいと思っています。</p>
委員	<p>バス停の除雪についてですが、新潟交通では今も実施されているか分かりませんが、待合所のあるバス停にスコップを置いて、ひとかき運動ということを実施した例があります。バスは降り口と乗車口がありますので、2箇所除雪する必要があります。新潟交通では一昔前は整備の人員等を応援に駆り立て何班かに分けて一斉にバス停の除雪をしていましたが、現在は人員削減の影響もあり、エリアを分けてバス停の除雪を行っている状況です。</p>
委員	<p>現在、周辺地域の生活交通について、和島地域、寺泊地域、小国地域で取り組まれており、先程、中之島での説明もありましたが、今後事業を考えている地域をお教えください。</p>
事務局	<p>川口地域では、現在合併前から運行しているバス（市営）が走っています。今後は住民を主体としたNPOによる運行に切り替えていきたいと考えています。山古志地域で走っているクローバーバスについては、平成25年までは復興基金により運行していますが、それ以降は復興基金がなくなりますので、その対応について地元関係者を入れて検討しているところです。寺泊地域にも交通空白地域がございますので、そういったところについても検討を進めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>先程の福祉タクシーの件で補足させていただきます。福祉専用車両については、保有枠もないので増車することは可能ですが、一般のタクシーと併用する場合は、増車することができないので一般車両を入れ替えるしかないというのが現状です。また、ユニバーサルデザインタクシーについては価格が高く、なかなか増車できないという状況にあります。また、専用の福祉車両については採算面から思うように増車が進んでいないという状況であり、補助制度の拡大をお願いしたいと思っています。</p>

会長	その他いかがでしょうか、無ければ会議の方は閉会したいと思います <閉会>
----	---

【会場写真】

